

平成22年(2010年)第1四半期決算

2010年5月7日

おいしさを笑顔に

KIRIN

キリンホールディングス株式会社

(1)2010年第1四半期連結業績(概要)

●全事業セグメントで営業増益 “実行と質的拡大の中計”初年度として順調なスタート

<連結経営成績>

(億円)	第1四半期	増減	前年比 (%)	業績予想	
				上期	年間
売上高	4,427	△445	△9.1	10,300	22,200
営業利益	238	+143	+152.2	500	1,330
経常利益	206	+74	+56.3	460	1,250
四半期(当期)純利益	61	+123	—	100	480

※売上高は酒税込みの金額
※業績予想は年初発表内容
と変更ありません

売上高	豪ドルの為替レートが回復、化学品事業の業績が改善したものの、ナショナルフーズ社の決算期変更により減収
営業利益	キリンビバレッジが収益構造改革を順調に進めたほか、豪ドルの為替レート回復や、協和発酵キリンの医薬・化学品事業等の貢献により増益(過去最高益)
経常利益	2009年1Q為替差益の反動あるも、営業増益により増益(過去最高益)
四半期純利益	資産流動化の進捗や、減損損失・投資有価証券評価損等の減少により増益

(2) 全社進捗・トピックス

年初目標達成に向けて全体として計画どおり進行中

1. グループシナジーの創出

＜CCT クロス・カンパニー・チーム＞

■生産・物流	・グループの品質・環境マネジメントの機能強化 → KBE*品質・環境推進部を新設 ・KB*製造拠点(栃木・北陸)の再編成 → 計画どおり進行中
■調達	・グループ調達の推進 → KB・KBC*の企画・ソーシング機能を集約・一元化
■IT 他	・情報インフラコストの削減など、ITコスト全般の削減策について予定通り進行中

＜健康・機能性食品事業推進プロジェクト＞

- お客様の身近な健康ニーズを捉え、飲料・食品事業分野を中心に、様々な商品形態で商品を提案
- グループ各社の総力を結集し、新たなビジネスモデルを構築
- 第一弾として、「回復系アミノ酸オルニチン」***を使用した商品を4月にグループ各社より一斉発売

＜グループ内事業統合**＞

- 原料アルコール、加工用酒類・発酵調味料事業を吸収分割により、当初予定通り7月に統合することを決定
(統合後の事業計画は今後詳細を策定、期央に発表予定)

2. リーン経営の実現

- ビジネスポートフォリオの選択と「食と健康」領域への集中 3月 アグリバイオ事業を譲渡
- 投資有価証券の売却を中心に、資産流動化を計画どおり推進 第1四半期実績100億円(年間予定400億円)

3. 海外事業展開

- 豪州 :ライオンネイサン ナショナルフーズ 統合プロセスは順調に推移
- フィリピン :SMBがサンミゲルインターナショナル100%化を完了、東南アジアでの酒類事業基盤の確立を推進

*グループ企業略称 KB:キリンビール、KBC:キリンビバレッジ、KBE:キリンビジネスエキスパート、SMB:サンミゲルブルワリー **事業統合の実施予定については2009年10月26日発表済 ***オルニチンは体内で使われても自らがオルニチンに戻るので回復系アミノ酸と呼ばれます。食品の中に微量に含まれ、人間の体の中にも存在するアミノ酸です。「しじみ」に多く含まれていますが、食品から摂取しづらいと言われています。

(3) 主要各社・事業トピックス①

国内酒類・飲料各社が総合飲料グループ戦略を着実に推進

麒麟ビール

- 市場が縮小する中、「のどごしく生」「麒麟 一番搾りく生」等の主力商品が好調、営業利益も堅調に推移
- 商品戦略の3つの課題への取り組みを継続
 - ✓ 定番商品強化 「麒麟ラガービール」をブラッシュアップ(2月)
 - ✓ 健康志向への対応強化 “糖質ゼロ”※1 “低カロリーNo.1”※2 「麒麟ゼロく生」を新発売(3月)
 - ✓ 総需要拡大 新ジャンルカテゴリー「麒麟1000(サウザン)」を新発売(3月)
- RTD市場では、「麒麟チューハイ 氷結」スタンダードシリーズの好調に加え、昨年発売した「麒麟 コーラショック」や新商品「麒麟 世界のハイボール」が市場を活性化
- ノンアルコール・ビールテイスト飲料「麒麟 フリー」は、昨年4月の発売以来の好調な販売を継続

メルシャン

- 厳しい市場環境の中、価値営業の推進等により、営業利益が持ち直し
- 生活防衛意識の高まりから、家庭用市場向けのデイリーワインの販売が好調に推移
- 世界的に人気が高まるロゼワインのプロモーションを強化 「フロンテラ メルローロゼ」発売

麒麟ビバレッジ

- 依然として厳しい市場環境において、引き続き「強いブランド創り」「収益構造改革」に注力し、営業利益が回復に向かう
- 「午後の紅茶」ブランド
 - ✓ 「麒麟 午後の紅茶 エスプレッソティー」(2月発売)がお客様の高い支持を獲得、年間販売計画を上方修正
 - ✓ 「麒麟 午後の紅茶 ヘルシーミルクティー」(3月発売)は砂糖ゼロ・脂肪ゼロを実現、紅茶飲料市場を活性化
- 「麒麟 ファイア」ブランド 「麒麟 ファイア ブラック ディープボディ」を新たにラインアップに追加(3月)

※1 「糖質ゼロ」は100mlあたり糖質0.5g未満のものに表示可能(栄養表示基準による)

※2 発泡酒の中で“いちばん”低カロリー 当社調べ(1994年～2009年12月発売の国産発泡酒)

(4) 主要各社・事業トピックス②

医薬・その他の事業、海外事業においても年初計画を順調に実行

協和発酵キリン

➤ 医薬

- ✓ 売上総利益の増加と研究開発費用等の減少により、営業増益を達成
- ✓ 国内の医療用医薬品では、主力製品である「ネスプ」及び「エスポー」、「レグパラ」等が伸長
- ✓ 花粉飛散量が前年に比べ少なかったこと等により、「アレロック」、「パタノール」の売上高が前年同期を下回る
- ✓ バイオ生産技術研究所内に、国内有数の治験用抗体原薬製造設備を竣工
- ✓ 技術収入が大幅に増加したほか、アジア向けの輸出も順調に推移

➤ バイオケミカル アジア向けの輸液用アミノ酸や、医薬用原料の販売が好調

➤ 化学 国内外ともに需要が回復、販売数量が前年を大きく上回り、営業利益が年初計画通り順調に推移

ライオンネイサン ナショナルフーズ社

➤ 酒類事業

- ✓ 中核の豪州ビール事業における基盤ブランドの販売好調等により売上増加
- 営業利益は実質増に加え、為替好転もあり、ライオンネイサン社100%化のれん償却後も増益を確保
- ✓ 拡大が続くプレミアムカテゴリーでの成長が継続

➤ 飲料・食品事業

- ✓ ナショナルフーズ社の損益は、決算期変更により、当第1四半期の当社グループの連結業績に含まず

中国(酒類事業)

- 市場は厳しい競争環境が続く
- 総合飲料グループ戦略を柱として、長江デルタ・珠江デルタ・東北三省を中心に引き続き販売を強化

(参考1)セグメント別売上高・営業利益

第1四半期実績

(億円)	酒類	飲料・食品	医薬	その他	消去又は全社	合計
売上高※	2,364	955	496	611	—	4,427
前年比 (%)	+5.8	△41.2	+1.6	+16.4	—	△9.1
営業利益	158	1	103	21	△46	238
前年比 (%)	+15.2	—	+80.9	—	—	+152.2

※売上高 : 外部顧客に対する売上高

参考:2009年第1四半期実績

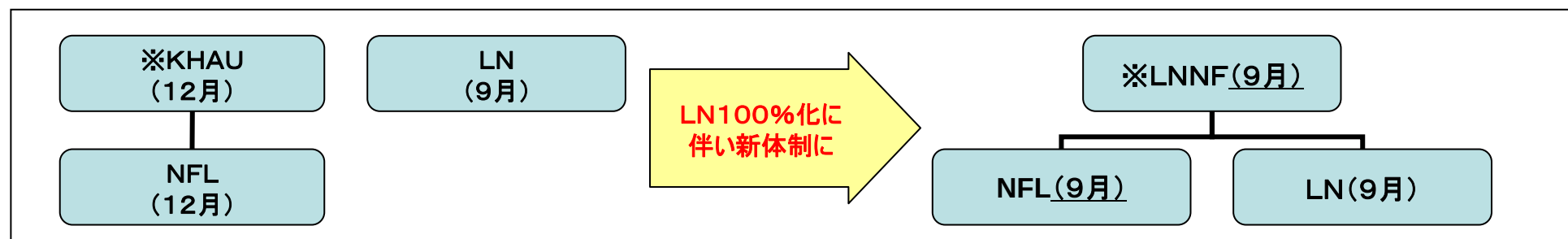
(億円)	酒類	飲料・食品	医薬	その他	消去又は全社	合計
売上高※	2,234	1,624	488	525	—	4,872
前年比 (%)	△9.9	+4.2	+360.5	+236.3	—	+13.3
営業利益	137	△39	57	△15	△45	94
前年比 (%)	△16.0	—	—	—	—	+2.5

※売上高 : 外部顧客に対する売上高

(参考2) 豪州各社の決算期変更とその影響

【要旨】LNNF・NFLの2010年決算は9ヶ月(1－9月)、当社第1四半期連結決算への同2社の業績反映はありません

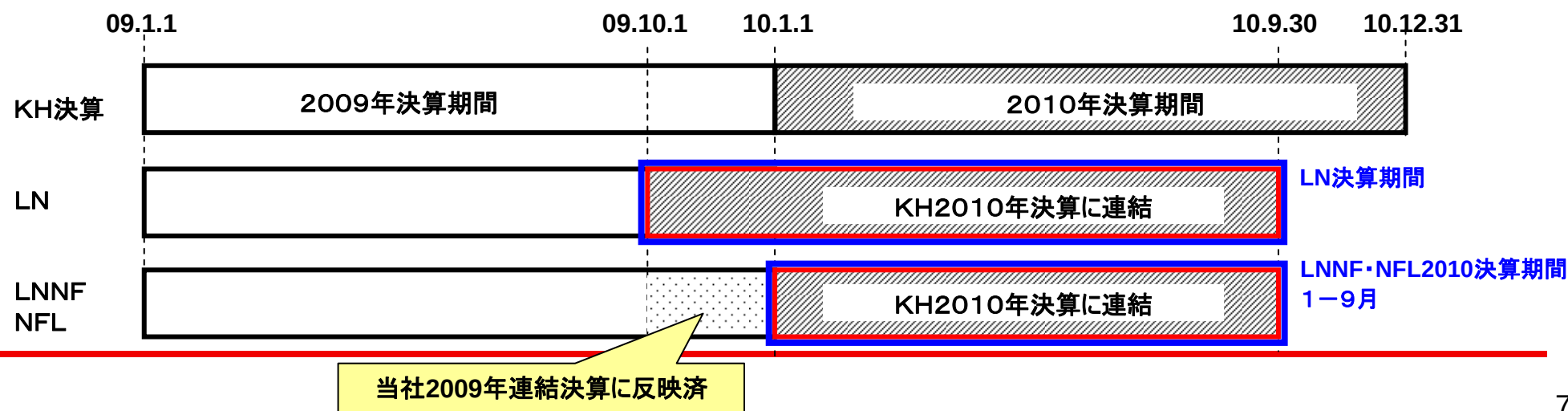
1. 豪州の組織体制変更および決算期の変更 ※()内が各社決算期



- (1) 社名略称 KHAU: キリンホールディングスオーストラリア社、LNNF: ライオンネイサン ナショナルフーズ社、LN: ライオンネイサン社、NFL: ナショナルフーズ社
 (2) ※ 組織体制変更に伴い、KHAUはLNNFに改称
 (3) 豪州各社の決算期を統一するため、LNNFおよびNFLの決算期を12月から9月に変更

2. 決算期変更に伴う当社連結業績への影響

LNNF・NFLは2009年12月決算を行ったうえで、決算期を12月から9月に変更したため、2010年の決算期間は1－9月となり、当社第1四半期に連結する業績はありません(※2009年10－12月業績は当社2009年連結決算に反映済)。



おいしさを笑顔に

KIRIN

この資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。
銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

**This material is intended for informational purposes only and is not a solicitation
or offer to buy or sell securities or related financial instruments.**